

市長と語る会(H27. 6. 17新町文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	個人情報などとの兼ね合いもあると思うが、地域が一つの輪になる方法をお話できればと思う。	個人情報の壁は、行政に携わっている者たちも感じている。地域の輪については、地域の各団体での活動を積極的に行うことで、1人でも多くの方にそこに加入いただいたり、防災などで集う場を設けることが考えられる。絶対的な方法はないが、市で全てをコントロールするのではなく、地域に相談や活動の拠点をつくる必要があると思っている。
2	地域の一番の基になっているのは自治会や町内会で、その中でも向こう三軒両隣ぐらいは、いろいろと把握することが大切だと思う。民生委員では捉えきれないので、そういうものを1つ1つ地域の中でつくり、それらがつながることが大切だと思う。	市内の自治会加入率は、10年ぐらい前は70%と聞いた。今はそれより落ちていると思うが、近隣市と比べると、10ポイント以上高いと思う。そういったものに帰属する意識の必要性を伝えなければいけないと思う。
3	(2の意見に関して) 敬老の日のお祝いを渡す機会などを活用して、高齢者を訪ねて安否を確認している。また、所属団体では、皆さんに了解をとって会員名簿をつくっており、必ず民生委員の方に副会長になっていただくようにしている。	
4	新町文化センター圏域は複雑に入り組んでおり、小・中学校が4つ、自治会が108つもあるので、それをまとめるべく各自治会にお願いしているが、中々できない。ただ、学校の協力や、各地域団体の連携がよくなり、ここ5～6年は、非常に地域のつながりがよくなった。	
5	新町コミュニティ協議会の拠点は新町文化センターだが、圏域が横長で、文化センターで子どもの行事をしても、遠い地域の子どもは参加しない。また、年を取ると、歩いて来るのも大変なので、圏域を横断するちゅうバスができるとうれしい。	この地域は、横の移動が厳しいのは把握している。ちゅうバスは今のところ、交通不便地域から中心部に向かうことが大きな狙いとなっているが、中心部に向かうと走行距離が長くなり、経費がかなりかかっている。運行ルートなどは、コミュニティバス検討会議で決めているので、ご意見を伝えておく。
6	自治会の加入を呼びかけるチラシが回覧版で回ってきたが、入っている人に回っても新しい人は加入しないので、工夫してもらいたい。	今は新聞をとらない方も多く、広報紙が行かなかつたり、自治会に入っていないければ回覧板も回らない。また、ホームページも必ず見るとは限らないので、難しいが工夫をしたいと思う。

## 市長と語る会(H27. 6. 17新町文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
7	団体で活動する際に、文化センターが遠くて大変なため、地域の会館を使っているが、使用料がかかる。しかし、文化センターは、申請すれば無償で使えるので、同じ市民なのに矛盾を感じる。	(参加者からの回答) 文化センター圏域は、8,000~1万人ぐらいを対象にしてつくったいきさつがあるが、それをつなげるルートがはっきりしていない。新町圏域は、浅間山や多磨霊園もあるので、隣の町と交流するのが難しい地域になっている。
8	地域のつながりを推進する組織としては、現状はコミュニティ協議会が一番適している。ところが、コミュニティ協議会を構成する団体の中で、一部入っていない団体があるところがあるが、原因を調べたことはあるか。	コミュニティ協議会にお入りいただきたいという声掛けはしているはずだと思う。しかし、特に自治会の場合は108もあれば入るところと入らないところがあるのだと思う。
9	コミュニティ協議会の運営について研究したと聞いたが、何か改革をするのか。	コミュニティ協議会の運営というより、文化センターのあり方について、2年間ぐらいかけて協議した。まずは市が直営することについて検討いただいたところ、直営とすべきという答えになった。それをもとに、今行っている活動について、いろいろなご意見をいただいた。
10	見守りネットワークや災害時対策の支援事業を地域で行っているが、自治会に加入してもらうには、その地域に即した事業の推進が一番適していると思う。そこで、自治会にその予算をいただければ一番いいと思うが、どうか。	全自治会に同じ対応をとっていただくのは難しいと思う。高齢者の見守りは、市、社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員で行っているが、どうしても人手が足りないので、相談の拠点をどうしたらよいか悩んでおり、この方向で自治会や老人会の加入率を上げられないかと思っている。 災害対応については、1~2カ月後に、自主防災組織を見直して、各文化センターごとの防災連絡会議(仮)を開催しようと思っている。これは各自治会にお願いすることになると思うので、防災連絡会議(仮)の代表の方にコミュニティ協議会に入ってくださいという道をつくれば、コミュニティ協議会と自治会が防災という横軸でつながってくると思う。
11	他市では、不動産屋などに来たときや住民票登録のときに自治会に加入してくださいとお願いするところもあると聞いた。府中市でも行政としてそういう働きかけをしてほしい。	自治会加入を促進するため、総合窓口課や不動産業者には協力をお願いしているが、なかなか新規加入につながっていない現状があるので、より進めていかなければいけないと思う。
12	協働の最終的な拠点はコミュニティ協議会だと思うが、年々予算が削られてきており、いかがなものかと感じる。	予算は、厳しい時期があり、どうしても削減せざるを得なかったが、少し状況が変わってきたので、見直す中で増額できる部分もあると思う。

## 市長と語る会(H27. 6. 17新町文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
13	広報の表紙を平成17年のものをずっと使っているが、新しいものはないのか。	(広報課からの回答) 平成17年度前後はファイリングの厚紙があったが、事情により、現在はお配りしていないので、大切に使用いただければと思う。
14	青年会に入る若者も年々減っており、色々な団体に声かけをしている。団体ごとの交流を深めていくことができれば、青年会の中から、年を取ってきたから自治会に入ろうという話も出てくると思う。	青年会を支えている人はごくわずかで、祭りのときは子どもたちがたくさんいるが、大きくなって、そのまま活動に携わるかという、厳しいのが実情である。継続していくためには、いろいろな団体をお願いをしていくしかないと思っているので、いい人がいたら紹介をするようお願いしておく。
15	下校後の子どもたちの安全に不安がある。この地区は東京農工大学の学生もたくさん住んでいるので、何かいい方法がないかなと思う。	東京農工大学は、大学自体が非常に市政に協力態勢を取っていただけており、3月に、市のまちづくり、あるいは大学の研究に協力するという相互協定を結んだので、先生や学生とは緊密に連携を取りたいと思っている。
16	震災時に一番パワーを持っているのは中学生なので、防災訓練等を行い、いざという時の手助けをしてもらえるようにできないか。	数日前に教育長と話したばかりだが、小学校でのコミュニティースクールにおいて、中学生が中心となる小規模の防災訓練に小学生が参加するもの考えている。 また、総合防災訓練については、以前は1つの学校に全員集めて行っていたが、去年は浅間中学校をメイン会場として、東・中・西で分けて行った。浅間中学校では、多くの中学生に参加いただいて非常に効果があったので、中学生の防災訓練へのかかわりは強めていきたいと思っている。
17	市でイベントなどを行い、皆がつながっていく機会を地域で増やしていくことが、地域のつながりを強化する意味では一番近道ではないか。	(以降、開催時間の都合により、発言のなかった参加者から意見のみを伺う。)
18	自治会が休会になったが、問題が自治会の中にないわけではなく、しかし自治会はやりたくないという状況がある。自治会の必要性をどう伝えていくか悩んでいる。	
19	地域の組織をつくるための費用は、自助努力も必要だが、市からの予算があれば、有効に使えるのではないかなと感じた。	

## 市長と語る会(H27. 6. 17新町文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
20	若い人や高齢者が地域のボランティアをしたときは、何かしら市からの評価をしてあげてほしい。そうすることにより、やりがい生まれてくるのではないか。	
21	青少年対策地区委員会が地域に認知されていないのがくやしい。地域の人たちにもっと知っていただけるように頑張りたい。	
22	自治会やコミュニティ協議会の行事に、若い人が参加するよう市から働きかけてほしい。	
23	公園や道路の清掃をしているが、将来的に委託料をカットすると聞いた。市民協働を妨げているのではと感じる。	
24	東京農工大学の周辺の道路が非常に汚いので、街路樹の下に植えている植物をなくし、コンクリートで埋めたほうがきれいになるのではないか。	
25	いろいろな団体でいろいろな行事があるので、共通する事業は、1つに集約することも必要ではないか。	
26	ケーブルテレビを利用して、地域の事業や自治会加入の推進をPRすればよいのではないか。	